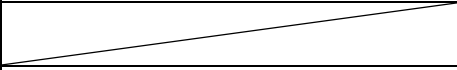


(2) 立体横断施設に設ける傾斜路

整備基準		図面及び立体横断施設の名称又は番号（記号）	設計内容	判定
必要に応じて次の構造の傾斜路及びその踊場を設けること。			(傾斜路・踊場) ・ 有 ・ 無	
傾斜路及びその踊場の構造	内のり幅2m以上		(最小内のり幅) m	
	勾配5%以下		(最大勾配)	
	高さが75cm以内ごとに踏幅1.5m以上の踊場を設置		(踊場の有無) ・ 有 ・ 無 (踊場の踏幅) m	
	傾斜路の同一平面で交差・接続する部分に踏幅1.5m以上の踊場を設置		(踊場の有無) ・ 有 ・ 無 (踊場の踏幅) m	
	両側に連続した二段の手すりを設置		(手すり) ・ 有 ・ 無	
	平たんな仕上げ			
	滑りにくく、水はけの良い仕上げ		(仕上材)	
	踊場及び傾斜路に接する部分と識別しやすい色調		(傾斜路の色) (その他の色)	
	両面に、35cm程度の立ち上がり部、柵、その他これに類する工作物の設置		(立ち上がり) ・ 有 (cm) ・ 無	
	傾斜路の上端及び下端付近の部分及び踊場に点状ブロックを敷設		平面図に敷設箇所を記入し、使用するブロックのカタログ等を添付してください。	

(注意) 1 記入方法

- (1) 「図面及び立体横断施設の名称又は番号（記号）」及び「設計内容」の欄に必要な事項を記入してください。
- (2) 「判定」の欄には、整備基準に適合する場合には「○」を、適合しない場合には「×」を、該当する事項がない場合には「／」をそれぞれ記入してください。

2 用語の説明

- (1) 「立体横断施設」とは、立体横断橋及び地下横断歩道をいいます。
- (2) 「点状ブロック」とは、視覚障害者に対し段差の存在等の警告又は注意喚起を行うために床面に敷設されるブロックその他これに類するものであって、点状の突起が設けられており、かつ、周囲の床面との色の明度の差又は輝度比が大きいこと等により容易に識別できるものをいいます。